

榎

さん

高

さん

三

さん

中

ちゅう

三郷中学校 校長通信
No.02 令和6年4月12日
文責：森 本 徹

入学式

4月10日(水)に三郷中学校の入学式が挙行されました。前日の雨も上がり、温かい日差しの中、新しい制服に身を包んだ新入生が正門をくぐりました。式辞では新入生にいろんなチャレンジをしてほしいということをお伝えしました。そこで引用した詩の全文を紹介します。

教室はまちがうところだ■みんなどしどし手上げて■まちがった意見を言おうじゃないか■まちがった答えを言おうじゃないか■まちがうことをおそれちゃいけない■まちがったものをワラっちゃいけない■まちがった意見をまちがった答えを■ああじゃあないかこうじゃあないかと■みんなで出しあい言い合うなかで■ほんとのものを見つけていくのだ■そうしてみんなで伸びていくのだ■いつも正しくまちがいのない■答えをしなくちゃならんと思って■そういうとこだと思っているから■まちがうことがこわくてこわくて■手も上げないで小さくなって■黙りこくって時間がすぎる■しかたがないから先生だけが■勝手にしゃべって生徒はうわのそら■それじゃあちっとも伸びてはいけない■神様でさえまちがう世のなか■ましてこれから人間になろうと■している僕らがまちがったって■なにがおかしいあたりまえじゃないか■うつむきうつむき■そうっと上げた手■はじめて上げた手■先生がさした■どきりと胸が大きく鳴って■どぎどきと体が燃えて■立ったとたんに忘れてしまった■なんだかぼそぼそしゃべったけれども■なにを言ったかちんぷんかんぷん■私はことりと座ってしまった■体がすうっと涼しくなって■ああ言やあよかったこう言やあよかった■あとでいいこと浮かんでくるのに■それでいいのだからいけどもいくども■おんなじことをくりかえすうちに■それからだんだんどきりがやんで■言いたいことが言え

てくるのだ■はじめからうまいこと言えるはずないんだ■はじめから答えが当たるはずないんだ■なんどもなんども言ってるうちに■まちがううちに■言いたいことの半分くらいは■どうやらこうやら言えてくるのだ■そうしてたまには答えも当たる■まちがいだらけの僕らの教室■おそれちゃいけない■ワラっちゃいけない■安心して手を上げろ■安心してまちがえや■まちがったってワラったり■ばかにしたりおこったり■そんなものはおりゃあせん■まちがったって誰かがよ■なおしてくれるし教えてくれる■困ったときには先生が■ない知恵しぼって教えるで■そんな教室作ろうやあ■おまえへんだと言われたって■あんたちがうと言われたって■そう思うのだからしょうがない■だれかがかりにもワラったら■まちがうことがなぜわるい■まちがってることわかればよ■人が言おうが言うまいが■おらあ自分であらためる■わからなけりゃあそのかわり■誰が言おうとこづこうと■おらあ根性曲げねえだ■そんな教室作ろうやあ

「教室はまちがうところだ」蒔田晋時(まきたしんじ)
※改行を■で示しています。

保護者の方へ

学校からの連絡方法として「ミマモルメ」を活用していますので、ご登録をお願いいたします。裏面に今年度の主な行事予定を掲載しています。ご確認ください。

正門前の桜はまだまだ小さいですがきれいに咲いています。

